

人権ちゃんだより

第33号

2026(令和8)年3月

編集・発行

野洲市企業人権啓発推進協議会
(野洲市役所地域経済振興課内)

TEL 077-587-6008

研修事業 令和7年度先進地研修

人権教育についての理解を深め、人権意識の向上を図るとともに、様々な人権問題の解決に向けた事例等の調査・研究のため視察研修を実施しました。研修を通して、事業所での人権教育や啓発に取り組むリーダーとしての資質の向上を目的としています。

開催日 令和7年11月18日(火)

視察研修地

- 1 人権のふるさと「水平社博物館」 奈良県御所市
- 2 国営平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」 奈良県奈良市

参加者 13名

1 人権のふるさと 「水平社博物館」

「人の世に熟あれ、人間に光あれ」と高らかに人間の尊厳と平等をうたいあげて、1922年3月3日に全国水平社は創立されました。結成の中心となったのが奈良県御所市柏原の青年たちでした。ここ柏原は水平社発祥の地・人権のふるさととして親しまれ、部落解放の歴史と差別のない未来を目指して戦った先人たちの姿を豊富な資料とわかりやすい展示と映像で紹介されています。部落解放運動の歴史と水平社運動の真髄を学びました。



館内ガイドさんによる展示施設の視察

駒井水平社博物館館長による講演

テーマ「水平社運動の真髄」



1.全国水平社の創立

1922年3月、京都市公会堂で創立。

発祥の地奈良県御所市、創立の地京都

全国水平社創立宣言(水平社宣言)は被差別マイノリティ自身が発信した世界初の人権宣言ともいわれている。

2.水平社の創立者たちが込めた「意思」と「意志」

3.水平社が求めた部落解放とは

4.水平社創立の理念を世界に発信

5.水平社創立の理念

人間の威厳の実現を共有、人権尊重意識の高揚による差別の克服へ

ひとり一人が基本的人権を享受するものとして、差別は許さないという意識に立ち差別を克服

人権は未完成、不平等を少しでも平等に

多様性を受容し認め合う、成熟した寛容で包摂的な社会の確立へ



2 国営平城宮跡歴史公園 「朱雀門ひろば」

平城宮跡の朱雀門前に2018(平成30)年に完成した複合施設で、朱雀大路の両側に並ぶ5つの館と芝生広場などの屋外スペースを合わせた広大な公園。1300年前の奈良時代に祝祭が行われていた広場は、平城宮跡歴史公園を楽しむ拠点として整備されています。奈良時代の平城宮を復元した模型、出土品と資料から読み解く奈良時代、当時の人々の営みなどが見られるガイダンス施設「平城宮いざない館」、平城宮正門の「朱雀門」、朱雀門ひろばのシンボルとしての「復原遣唐使船」をツアーガイドさんとともに巡り、1300年前の歴史に思いをはせた視察研修でした。



2025 (令和7) 年度 人権啓発担当者交流会

日 時：2025 (令和7) 年10月28日 (火)
 場 所：野洲市総合防災センター2階研修室
 テーマ：「働き方改革の現状と課題」
 ～生産性向上と人材定着のために～
 講 師： 菊次 正純 さん
 きく労務マネジメント研究所 所長
 特定社会保険労務士・中小企業診断士
 参加者・参加事業所 参加者34人 31事業所



働き方改革と言われて久しく、制度面の整備は整いつつありますが、実態がついてきていないと実感されている事業所も少なくはないのではと思います。「人材の確保と定着・生産性の向上」をめざしている事業所にとっては、働き方改革の実施は事業所の課題解決の重要な柱となっています。講演では働き方改革の背景や法改正の流れを整理し、長時間労働是正やテレワーク推進などの現状と課題を解説され、特に中小企業が直面する人材不足や制度運用の難しさに焦点を当て、企業がとるべき対応策のヒントをお話しされました。成功事例や最新データを交えながら、生産性向上と人材定着を両立させるための実践的なアプローチを考え、企業競争力強化につながることをお話しいたしました。

講演内容の感想・ご自身が働き方改革について気づいたこと、学んだことについて参加者から多くのアンケート回答がありました。

「働き方改革の課題に対して、DX導入、助成金の活用事例を紹介頂き、大変参考になりました。」「組織内の運用で参考になる点があり実践していきたいです。」「大企業と中小企業の実態が分かったので、勉強になりました。」「3. 課題→まさしく、直面している内容であり、当社でも対応に苦慮している内容でした。中小企業は特に感じているのではないかと考えています。」「働き方改革の取り組みを従業員が感じられるものにする事で、よりよい取り組みになると感じました。中小企業でできそうなレベルの取組事例を多く紹介してほしい。多くの制度を有効に活用していこうと思う。」「デジタル技術の活用、他、様々な取り組みをご紹介いただいたが、それらの導入にはまず、人手が必要であり、目の前の課題に対応する必要があるなか、なかなか難しい。」「時代の流れによって人材の考え方も全く異なってきました。世代の違う者たちが歩み寄っていきける方法を模索していく必要がある。」「働き方改革」と言えば、マイナスイメージを持って対応する事が多かったが、働きやすい職場作りを行うチャンスとしてとらえるべき機会と気付かされました。」「人手不足の中で会社をどう変えていくか考えていく事が必要であり、柔軟な働き方ができるような体制をとっていく事が大事だと思いました。また雇用に関しても受け口を幅広くして、女性、外国人、障害者など多様な雇用をするのも大切であると思いました。心理的安全性の確保された組織を目指したいと思います。」「制度があったとしても、気持ちよくそれが適用されるには、「働きやすい職場」環境がとても大切。チームの心理的安全性、健康でいること、大切。」「残業に対してのことと、生産性の向上この2つが、働き方改革だと思っていましたが、それだけではないということが受けとれました。」

2025 (令和7) 年度 第2回人権啓発担当者研修会

日 時：2025 (令和7) 年12月4日 (木)
 場 所：野洲市総合防災センター2階研修室
 テーマ：「職場の心理的安全性と人権」

～基本的人権である言論の自由や個人の尊重を職場で実現するためには、職場の心理的安全性を高めるコミュニケーションを学ぶ～

講 師： 吉岡 里栄子 さん よしおかワークサポートオフィス代表
 社会保険労務士

参加者： 85名 79事業所 当日参加 30名 24事業所
 YouTube 動画配信参加 55名 55事業所

本研修会からYouTube 動画配信を実施しました。

心理的安全性とは、自分の意見や気持ちを安心して表現できる状態を指します。今、社員一人ひとりが尊重され、安心してものが言え、働き方については生き方を自分で選べるといった、当たり前の権利の重要性に改めて目を向ける企業が増えています。人口減少はもはや不可避で、労働人口が減り続ける将来を考えれば、「上意下達」や「年功序列」「同質性」に象徴される昭和型企業の限界は明らかです。グローバル企業だけでなく、中小企業も職場での多様性確保は無関係ではありません。心理的安全性が確保された環境では、メンバーは自然な自分でいられ、疑問や意見、失敗を恐れずに安心して発言・行動でき、それが個人の尊厳を守り、ひいては組織全体のイノベーションや生産性向上につながる事が可能となります。「心理的安全性とは何か」「心理的安全性と人権との関わり」「心理的安全性が低い職場で起こる問題」「心理的安全性がもたらすメリット」「心理的安全性の高い組織のつくり方」などをお話しいただきました。

また、グループワークを実施し、二人一組に分かれ①あなたがイメージする「心理的安全性がある職場」はどのようなところか? ②今の職場で、より必要な「具体的なコミュニケーション」はどんなことか? ③具体的なコミュニケーションを進めるために何から始めてみますか? について話し合いを行いました。

参加者からは

「心理的安全性を持たず事が相手への配慮にもつながる事がわかりました。」「自分の職場の心理的安全性について考えさせられました。」「人と人との信頼関係をいかにつくっていくのか、その方策を考えるいい機会になりました。」「心理的安全性について、良く知らなかったが、コミュニケーションが大事なんだと知ることができた。」「他社の方とグループワークをし、意見を伺えることができて良かった。」「初めて聞く言葉でしたが、今後大切にしていかなければいけない事だと思います。今日の内容は会社でも共有したいと思います。」「自分の職場の心理的安全性について考えさせられました。人と人との信頼関係をいかにつくっていくのか、その方策を考えるいい機会になりました。」 など、多くの感想や気づいたこと、学んだことのご意見をいただきました。



交 流 事 業

2025（令和7）年度下期は野洲市、滋賀県、その他団体の12件の外部研修会に参加しました。

滋賀県主催 2025年度企業内人権啓発「経営者研修会」

日時 2025（令和7）年10月20日（月）
場所 東し株式会社滋賀事業場 講堂
テーマ 「経営層に求められる情報・事件・時代認識～激変する情報環境をふまえて～」
講師 北口 末広 氏
近畿大学 人権問題研究所 特任主任教授
参加者 11名 9事業所



講演のポイントは、「情報感度を高めるために的確な情報対応の重要性—情報がすべてを決する」でした。
経営幹部層に求められる人権・情報・時代認識は、企業不祥事への対応の基本—3つの「S」「初期対応」「最優先課題を明確に据える」「SNSの書き込み」この3つをいかに理解するかがポイント。アンコンシャス・バイアスへの気づきを、情報感度を高めるためには的確な情報対応の重要性—情報がすべてを決めます。

和田部落解放文化のつどい

日時 2025（令和7）年11月9日（日）
会場 野洲市人権センター ホール
参加者 5名 3事業所



発表の広場 野洲第3保育園「やまびことんぼ会・がんば太鼓」披露
記念講演・パネルディスカッション 「和田部落解放文化のつどい50年」

話題提供 山中 清嗣 さん 和田地区の部落解放運動の50年
パネルディスカッション

野洲第3保育園園長、野洲中学校校長、野洲部落解放研究会代表、和田保護者会・ひびき代表が部落差別を知ったころの意識や差別解消のための自己の取組についてディスカッションされました。

人権YASU2026への協賛

「広げよう! みんなが繋がり、みんなが輝く、笑顔のネットワーク人権 YASU2026」に協賛しました。
2026（令和8）年2月7日（土）開催行事として「近江むかが太鼓保存会による演奏・体験」「滋賀県人権キャラクター ジンケンダー」による啓発活動が行われました。
7日～13日（金）平和堂アル・プラザ野洲で市内小・中・高生の人権作品（人権標語・ポスター・作文）と人権パネルの展示が行われました。
2月1日（日）～28日（金）当協賛会会員15事業所が人権啓発展示事業所として人権啓発活動（人権作品ポスターの展示）をされました。

人権啓発協力事業所
滋賀銀行野洲支店・中主支店 関西みらい銀行野洲支店 滋賀中央信用金庫野洲支店・中主支店
レーク滋賀農業協同組合野洲支店・中主支店
野洲郵便局 中主郵便局 祇玉郵便局
イオンタウン野洲 魚忠ママセンター 湖南病院 平和堂フレンドマート中主店 JR野洲駅



第30回部落解放・人権政策びわこ南部地域研究集会 【人権教育・啓発部会】 【企業啓発部会】

日時 2025（令和7）年12月15日（月）
場所 湖南市共同福祉施設（サンライフ甲西）
参加者 3名 2事業所

【人権教育・啓発部会】
講義 「無関心でいられても無関係でいられない人権問題～インターネット上に表示する差別事件から考える～」
講師 松村 元樹 さん



公益財団法人反差別・人権問題研究所 常務理事兼事務局長
「最近の差別的投稿の傾向」「迅速・的確・有効な対策」「差別問題の基礎基本」「着実にできること」についてお話しいただきました。

【企業啓発部会】
講義 「SNSと人権および情報リテラシー」
講師 北口 末広 さん



はじめに、権力の源泉は何か暴力（軍事）→財力（経済覇権）→知力（技術覇権）現在は生成AIによる技術覇権が権力である依存症を生むSNS。SNSは「いいね」や「コメント」閲覧数、シェア数で評価される。社会的承認要求を通じて「依存症」に近い状況が現れつつある。人は自分の心理状態・感情に合った情報を求める。フェイクと独裁は表裏一体で民主主義と正確な情報も表裏一体である。

【同対審】 答申60年、部落地名総鑑差別事件発覚50年から学ぶ学習会

日時 2025（令和7）年10月22日（水）
会場 ひこね市文化プラザ グランドホール
講師 丸本 千悟 さん
（部落解放同盟滋賀県連合会委員長）
参加者 9名 8事業所



同和問題の解決を阻む三つの壁と同対審答申
同和問題を阻む三つの壁

- ①部落差別が存在するかどうかという壁【部落差別の存在を明確に求めた】
- ②部落差別の解決は誰がするかという壁【部落責任論】
【部落差別の解決は行政（国、都道府県、市町村）の責務であることを明確に認めた】
- ③「手法」の壁（一般対策か特別対策か）【特別措置法の制定の必要性を認めた】

第30回部落解放・人権政策びわこ南部地域研究集会記念大会 【人材育成部会】

日時 2025（令和7）年11月28日（金）
場所 野洲文化小劇場
参加者 18名 16事業所



講演・人形芝居
演題 「福をつかんだ人形つかいとじんけん」
講師 辻本 一英 さん（芝原生活文化研究所代表）
阿波木偶箱まわし保存会の皆さん

2～3人が一組になり、数体の木偶を一人で操りながら浄瑠璃を語る「箱まわし」は、幕末から明治にかけ全盛期を迎え、全国各地でその大道芸がみられましたが、昭和初期に街角から姿を消しました。明治の頃には、箱まわし芸人が徳島県内に200人以上もいたとされるが、近年はほとんど見られなくなりました。箱まわしを業（なりわい）としていた被差別部落の人たちは、人形を持っていると、出身がわかってしまうと、こっそり川に流してしまう人が相次いだといえます。

阿波木偶箱まわし保存会顧問で芝原生活文化研究所代表の辻本一英さんをお迎えし、「福をつかんだ人形つかいとじんけん」と題して、阿波木偶「箱廻し」や「三番壱まわし」などの徳島県独自の祝福芸や門付芸といった無形民俗文化財の伝承から、徳島県の被差別部落や同和問題についてご講演いただきました。

第22回野洲市人権尊重と部落解放をめざす 「ひと」と「ひと」のつどい

日時 2026（令和8）年1月24日（土）
会場 野洲市人権センター ホール

講演
テーマ 「部落差別とわたし～住吉に生まれて～」
講師 藤本 真帆 さん 公益財団法人住吉隣保館事業推進協会職員
参加者 9名 7事業所



地区の歴史から生活実態、差別の現状、まちづくりに至るまで、幅広い視点から、細かく話していただきました。最初に地区の成り立ち等、歴史を話された後、どういった差別を受けてきたのか、また当時の生活実態がいかに劣悪だったかを写真と共に説明されました。

そのあと、住民自ら立ち上がり、部落差別に対して立ち向かうために、まち全体で団体を組織したことや、その団体を中心として団結しながらまちづくりをされてきたのかを話していただきました。

しが企業内人権啓発セミナー

日時 2026（令和8）年2月12日（木）
場所 栗東芸術文化会館
参加者 7名 4事業所

講演 「公正採用選考に取り組む社会的背景」
講師 松浦 広明 さん（公財）滋賀県人権センター



基調講演 「セクシュアルマイノリティと若者支援について」
内藤 れん さん レインボー神戸

事例発表 「オムロンで進めるLGBTQ+の取り組みについて」
森 督子 さん オムロン株式会社ダイバーシティ&インクルージョン推進課

交 流 事 業

2025年人権週間協賛人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい

日 時 2025(令和7)年12月7日(日)
会 場 滋賀県立文化産業交流会館
参加者 2名 2事業所

- 1 滋賀県人権センター50周年記念企画
映画 「蓮如とその母」の上映
- 2 意見発表 人権作文『特攻隊』を通して
大谷 名月 さん 彦根市立西中学校
- 3 記念講演
演 題 「はて?を投げかけ透明化された人々を描く～みんなが翼を得られる社会へ～」
講 師 吉田 恵里香 さん 脚本家・小説家



第21回野洲市人権尊重をめざす市民のつどい

日 時 2026(令和8)年2月14日(土)
会 場 野洲市人権センター
参加者 8名 6事業所

- 1 人権作品の表彰と発表
 - 2 野洲市パートナーシップ制度の創設について
野洲市において令和8年4月よりパートナーシップ制度がスタートします。
 - 3 講演 「性的マイノリティってなに?」
楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ
講師 仲岡 しゅん さん 弁護士
- ①私のアイデンティティの変遷
②学校・家庭・子供とセクシュアルマイノリティ
などについてお話しいただきました。



部落解放研究第33回滋賀県会

日 時 2026(令和8)年2月21日(土)
会 場 滋賀県立文化産業交流会館
参加者 9名 8事業所

全体会
記念講演 「日本の貧困問題、そして排外主義について語る」
講 師 雨宮 処凛 さん 作家・活動家



貧困と排除についてお話しいただきました。
貧困と貧乏は違う。貧困は溜がない状態、生活に必要なものが何もない状態。排除には5つの排除がある。「家族からの排除」「教育からの排除」「企業福祉からの排除」「公的福祉からの排除」「自分自身からの排除」5つの排除が関連して発生した場合に貧困が発生する。5つの分科会が開催されました。
入門講座「気づきのスタートライン」第1分科会「今ある差別と向き合う」第2分科会「暮らしの中に『部落差別解消推進法』を」第3分科会「部落問題学習をどう進めるか」第4分科会「企業活動に『部落差別解消推進法』を」第5分科会「平和と人権」

湖南地区職業対策連絡協議会と 4市企業人権(同和)教育推進協議会との交流研修会

日 時 2026(令和8)年2月5日(木)
場 所 草津アマカホール 研修室
参加者 8名 5事業所
講 演 「外国人労働者の雇用と人権」
講 師 上田 修三 さん
大阪企業人権協議会 講師



外国人労働者について知識を深め、雇用に関するノウハウや適切な業務の切り出しや、労務管理上の合理的配慮等について学び、外国人雇用に取り組むきっかけ、職場定着に向けた支援についてお話しいただき、その後、4つの分散会に分かれ、「外国人の雇用と人権」について参加者との意見交換を行いました。

啓 発 事 業

人権啓発冊子の配布

人権の擁護 令和7年度版 編集発行 法務省人権擁護局

この冊子は、令和7年7月に公表された「令和7年度版人権教育・啓発白書」に基づきわが国の主要な人権問題とその取り組みについて内容を説明しています。この冊子が、多様性を尊重され、すべての人々がお互いの人権や尊厳を大切に、生き生きとした人生を送ることのできる共生社会の実現に向けて、様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことでなく、自分のこととして考え、人権を尊重した行動をとるきっかけとなれば幸いです。



法務省ホームページ「人権の擁護」
<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken25.html> から取得できます。地域経済振興課でもPDFを取得しています。

仕事応援ブック 滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課 編集・発行

初めて就労される皆さんは、長い学生生活を終え、いよいよ社会人としての一歩を踏み出されます。実社会は楽しいこともありますが、学生時代とは異なるいろいろな難関が待ち構えていて、社会の厳しさに直面し悩むこともあると思います。しかし、これも社会人ならだれでも経験することで、避けて通ることのできないものです。このハンドブックは、そんなときに少しでも役立てばと考え、社会人として知っておいて欲しいことをわかりやすくまとめました。「社会人としての一歩を踏み出すために」「社会人としての基本的マナーを知ろう」「仕事の基本ルールを身につけよう」「社会人に必要な基礎知識 Q&A」「困ったときの相談窓口」



滋賀県のホームページ「滋賀県仕事応援ブック」
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/shigoto/346915.html> から取得できます。地域経済振興課でもPDFを取得しています。

企業の社会的責任「CSRと人権～先進的な企業の取組」

公益財団法人人権教育啓発推進センター 発行

国際的にも国内的にも、企業活動が社会にもたらす影響について人々の関心が高まり、企業に対し、責任ある行動が求められるようになりました。特に、企業活動における人権の尊重が注目される中、企業はどのように行動すればよいのでしょうか。
平成23(2011)年には国連で「ビジネスと人権に関する指導原則」がつけられました。同指導原則は、現在、企業活動における人権尊重の指針として世界各国で用いられています。企業においては人権デュー・ディリジェンスの実施をはじめとする企業の人権尊重責任を果たす取り組みが進められています。



野洲市役所保管 人権 DVD 一覧

野洲市役所(地域経済振興課・人権施策推進課)で保管している人権啓発DVDです。会員事業所様に「無料」で貸出しています。事業所内での社内研修にご利用ください。人権啓発DVDは人権センター(人権施策推進課)で管理しています。貸出を希望される事業所様はDVD番号とタイトルをご連絡ください。

連絡先
人権施策推進課 野洲市小篠原1780
(野洲市人権センター1階)
TEL 077-587-6041
FAX 077-518-1860



啓 発 事 業

令和7年度制作人権啓発DVDの貸出

下記の人権啓発DVDを2本制作しましたので会員事業所様に貸出します。事業所内の研修にご利用願います。
(令和7年度は当協議会主催・共催の研修会については一部 YouTube 動画配信が可能となったことから DVD を作成しました。)

	<p>第21回野洲市人権教育研究大会 全体会記念講演 「LGBT～素地SOGI、親の願い～」 (60分)</p> <p>素地・親の願い、トランスジェンダーの子を授かった親の話 子どもからカミングアウトを受けて、当時どう思い・どう行動して・これから願うこと</p> <p>講 師： 浦狩 知子 さん 三重県いなべ市LGBT 専門相談員</p>
	<p>野洲市企業人権啓発推進協議会主催 第2回人権啓発担当者研修会 講演内容 「職場の心理的安全性と人権」 (80分)</p> <p>～基本的人権である言論の自由や個人の尊重を職場で実現するためには、職場の心理的安全性を高めるコミュニケーションを学ぶ～</p> <p>講 師： 吉岡 里栄子 さん 社会保険労務士</p>

*今回、2本のDVDには「研修会資料」が添付されています。事業所内でのDVD視聴による研修で併せてご利用ください。
貸出をご希望の事業所様は事務局（地域経済振興課）までご連絡願います。(この2本のDVDは野洲市役所地域経済振興課で保管しています。)

事業所への人権DVDの貸出

令和7年度は51事業所の人権DVDを貸し出し、事業所内研修にご利用いただきました。

野洲市役所保管の人権DVD	貸出 事業所数
大切な人	12
ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション	4
職場のハラスメント再点検あなたの理解で大丈夫ですか①パワーハラスメント編	4
職場のハラスメント再点検あなたの理解で大丈夫ですか②セクシュアルハラスメント編	4
ハラスメントの裏に潜む「無意識の偏見」職場のコミュニケーション向上のヒント	4
小さな歩みを見つけよう～職場の人権 気づきポイント集	3
アサーション（上手な気持ちの伝え方）～職場のコミュニケーションスキル～	3
ある精肉店の話	3
企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる	1
わからないから、確かめ合うコミュニケーション	1
メンタルヘルス セルフケア&ラインケア	1
ネット差別を許すな	1
シェアしてみたらわかったこと	1
ハラスメントの無い風通しの良い職場を目指して～ハラスメントを生まない職場のコミュニケーション	1
言葉があるから～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～	1
人権のすすめ	1
人権のすすめⅡ	1
被差別部落のまなざし	1
あなたは大丈夫?考えよう!デートDV	1
あなたは大丈夫?考えよう!児童虐待	1
あなたは大丈夫?考えよう!いじめ	1
インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	1

啓 発 事 業

令和8年度人権標語の募集

令和8年度の野洲市企業人権啓発推進協議会の活動スローガンとなる人権標語の募集を行いました。一部をご紹介します。

認め合う みんながつくる 安心社会 医療法人周行会湖南病院	ちょっと待て 出すと消せない SNS 自分の言葉に 愛と責任を 京セラ株式会社野洲工場
育もう 互いに敬う 良き職場 オムロン株式会社野洲事業所	AIに 区別と差別 聞いてみて 社会福祉法人野洲慈恵会ざおうの里
思いやり 伝わらなければ 重い槍 株式会社 JR 西日本メンテック野洲営業所	愛の眼で みんなを見れば 差別なし 中国塗料株式会社滋賀工場
SNS 信じる前に 真を知る 株式会社近江美研	たいせつに 自分の個性は たからもの 社会福祉法人すみれ厚生会野洲篠原すみれ園
違いこそ 認めて進む 第一歩 株式会社テクノスマート滋賀事業所	落ち着こう 言っちゃいけない その一言は 山中産業株式会社野洲工場
だいじだよ、自分を仲間を 信じる心 株式会社野洲サルベージ	思い込み 自分の価値観 押し付けない 株式会社 JR 西日本メンテック野洲営業所

インフォメーション

令和8年度上期（4月～5月）総会・研修会開催のご案内

2026（令和8）年度 野洲市企業人権啓発推進協議会 総会

日 時 2026（令和8）年4月23日（木） 14:00～14:50（受付 13:30～）
場 所 野洲市総合防災センター2階 研修室

2026（令和8）年度 野洲市企業人権啓発推進協議会 第1回経営者・管理者研修会

日 時 2026（令和8）年4月23日（木） 15:00～16:30（受付 14:45～）
場 所 野洲市総合防災センター2階 研修室
テーマ 「盲導犬と暮らすこと 盲導犬ユーザーを受け入れること」～公益財団法人関西盲導犬協会の活動を通して考える～
講 師 久保 ますみ さん 公益財団法人関西盲導犬協会 北川 きよこ さん 盲導犬ユーザー

2026（令和8）年度 人権啓発基礎研修会

日 時 2026（令和8）年5月22日（金） 10:30～12:00（受付 10:00～）
場 所 野洲市総合防災センター2階 研修室
テーマ 「差別・人権問題に関わる言葉・表現の理解」
講 師 吉川 弘 さん 大阪企業人権協議会 サポートセンター講師

野洲市企業人権啓発推進協議会入会のご案内

野洲市企業人権啓発推進協議会では、市内の事業所の皆さんが、事業所における人権問題をはじめあらゆる差別解消に取り組み、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、明るい職場づくりを目指して共に学んでいこうと様々な活動に取り組んでいます。当協議会の活動にご賛同いただき、ともに活動して下さる事業所様を募集しています。



人ちゃん
権ちゃん
野洲市企業人権啓発推進協議会
イメージキャラクター

お問い合わせ先

野洲市企業人権啓発推進協議会
〒520-2395 野洲市小篠原 2100 番地 1 野洲市地域経済振興課内
TEL 077-587-6008 FAX 077-587-6960
メール keizai@city.yasu.lg.jp